

報塾 しゅうめい

第40号
2015 vol.

平成27年11月10日
発行 塾長 上谷 恭範
〒111-0052
台東区柳橋1-26-3
TEL 03(3862)9218

「わが子がどうしたら 本を読むようになるのか」

―読書環境の場づくり―

塾長 上谷 恭範

今回は、読書の効用については言及しません。昨今、ご家庭において「灯火親しむべき候」なのに、読書をするのにふさわしい家庭環境にあるでしょうか。核家族・夫婦共働き、お母さんは仕事多忙になり、くたくたになって帰宅、その後家事、土、日曜日には日常できなかったこと―洗濯、買い物等々、子どもと一緒に過ごす時間が激減しているのではないのでしょうか。だから本を買ってはあげるが一緒に読む、ベッドで読み聞かせるという機会は少なくなるのもやむを得ないのかも知れません。挙句の果て、子どもは、テレビ、ゲーム機、スマホにのめり込み、それらから脱却できない、ということもあるのでしょうか。

ここで私は提案したい。

その一、灯火親しむ静寂で落ち着いた意図的、計画的な時間を確保する環境をつくることです。つまり家で、一週間の中の一日数時間「読書の日」をつくり、親ともども子どもと「読み合う」習慣をつくってみてはいかがでしょう。

一例として、齋藤孝さんの『声に出して読みたい日本語』（草思社発行）の素読をおすすめします。「この本は、暗誦もしくは朗誦することをねらいとして編んだものです。したがって、ただ目で黙読するのではなく、大きく声を出して詠み上げてみてください。」…「一人で暗誦・朗誦に励むのもなかなか味わいのあることではありますが、親

子や友人同士などでやるといっそう明るく楽しくできます。」と述べています。内容は、著名な漢詩、論語、和歌集、古典文、現代文等々で、声に出して読むと、リズム・テンポの良さが、私達に活力を与えてくれます。

その二、もしそのような場、時間ができないようでしたら、私どもの『ことばの学校』をおすすめします。週に一回の受講で、年間20から40冊の本を読破できます。読む速度を段階的に高めていく「速聴読プログラム」と読書の前後に取り組む「読書ワーク」で読んだ本の中から効果的に語彙力・表現力を強化しています。幼児から中学生まで学年別・能力別に取り組め、幼児は20冊、小中学生は200冊を用意しています。親子無料体験会を開催していますので、詳細は、各教室にお問合せください。

とにかく、読書が、子どもたちには「夢」を親御さんには「活力」を与えてくれるものと信じ、豊かな人生を培ってみたいかがでしょうか。

『アクティブ・ラーニング』と

『ことばの学校』



上谷 修一郎

現在、文科省においてセンター試験の廃止と2020年度からの大学入学希望者学力評価テストへの移行が検討されている。新入試制度では学力評価テストによって「教科」ごとに「知識」や「技能」を正確に暗記しているかどうかを確認するだけでなく、「合教科・科目型」、「総合型」の設問を出題し、「思考力」・「判断力」・「表現力」が評価される。そして、各大学の個別試験では大学の個性に合わせて小論文、面接、集団討論によって「主体性」・「多様性」・「協働性」が評価されると言われているのである。

この入試制度改革に対応するために、学習塾においてもこれ

までのような「知識」や「技能」を身に着けるための反復演習だけでなく、「思考力」・「判断力」・「表現力」や「主体性」・「多様性」・「協働性」を養う教育が求められている。そのための方法としてとりわけ最近脚光を浴びている教育方法が「アクティブ・ラーニング」である。

「アクティブ・ラーニング」においては先生による講義形式の受動的な授業よりも、生徒による能動的な参加を奨励する授業が要求される。「反転授業」という用語もあるように、「知識」や「技能」を教わるといよりも、生徒個人が予め家庭でそれらを学習し、教室内でのグループワークやディスカッションを通じて理解を深めようとする。先生はそこでは知識の伝達者ではなく「ファシリテーター」として生徒が自分で回答に到達できることを推進する役割が必要とされる。場合によってはその「知識」や「技能」自体が妥当かどうかを批判的に捉え、新たな「知識」や「技能」の「創造」につなげることまで求められていると言えるだろう。

この新試験制度で求められる能力の中で「思考力」・「判断力」・「表現力」を養成するために、修明塾では「ことばの学校」を導入した。「ことばの学校」とは入試によく出題

される本を17段階にスピードを調節できるナレーションの音声の力を借りることで読破し、読書ワークによって内容理解をチェックしていくことで、速読力、語彙力、通じては国語力を高めようとするものである。国語力は全ての教科、学習の土台となるものであるため、とりわけ低学年から年に30冊にも及ぶ良書を読む訓練をすることは、将来のための読書習慣をつけるにとどまらず、「思考力」・「判



『ことばの学校』年長児クラス開設

脇田 良子

今年三月に開講した「ことばの学校」も半年以上経過しました。その間、幼児英才教室の保護者の方、小学校入学を控えた年長児を持つ保護者の方から、「小学校入学前から取り組める教材がないか」といったお問合せが寄せられました。

そこで、このたび修明学園ことばの学校では、十二月の新年度より、現在の年長児を対象とした入門コースを導入することにしました。五歳から六歳の現年長児のお子様が無理なく自分で本が読めるようになるテキスト構成です。授業時間は一回30分となっております。

○ ひらがなやカタカナの同形発見によって

文字の認識力を高める

○ 音声から単語・文節を認識させ、記憶させる

入門コースでは、20タイトルの書籍を使用し、3Aと2Aの二つのグレードがあります。能力の高いお子様であれば、最初から2AまたはAから始めることも可能です。子どもが単に言葉を覚えてひらがなや漢字を覚えるのではなく、語り手の言い方を聴くことによって微妙なニュアンスを聞き分けることができるのが大きな魅力です。

先日、春から受講している小学生のお子様も、「ことばの学校」を受講するようになってから、お父様に対して本を讀んでとせがむようになったと、嬉しい報告がありました。読書から国語力を育てる「ことばの学校」の可能性にご期待ください。無料体験会を毎月計画しておりますので、ぜひご参加をお願い致します。



読書から国語力を育てる！

読むとくメソッド®

ことばの学校 無料体験

♪読書の秋♪に始めてみませんか？

週1回の受講で、受験に必須の厳選された200冊の良書の中から、年間20〜40冊の本を読破できます。

読む速度を段階的に高める「速読プログラム」と読書の前後に取り組み「読書ワーク」で、効果的に語彙・表現力を強化します。また、年2回実施の「読書指数診断」で、国語力の伸長を測定します。



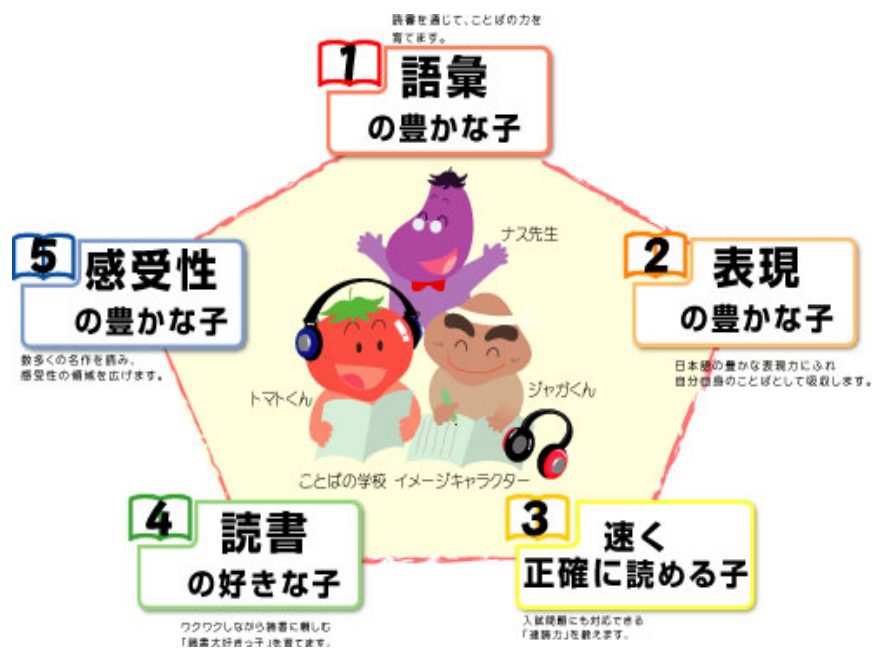
スケジュール
2015年

修明塾 浅草橋教室

11月23日(火・祝) 10:30・11:30

□ミニ説明会実施【体験：定員3名】

『ことばの学校』は お子様の姿勢を変えます！



修明学園グループお薦めの私立校 (五十音順)

国府台女子学院・香蘭女学校

中村中学高・文化学園大学杉並中高

明星学園中高・三輪田学園中高

2015 修明

11月 12月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

11月上旬～11月中旬 中学生対象『2学期・期末テスト対策勉強会』
11/3・23・12/23(祝日)小6・中3受験生対象『ホリデー受験対策講座』
12月23日(祝・水曜)「クリスマス会」(本部開催)
12月24日(木曜)12月通常授業終了

♪合格おめでとうっ！ぎゅーっ♪

【1次合格】
2級 1名
(個人情報保護のため、HP掲載版は氏名公表を致しません。)

8543
級級級級
1113
名名名名
合格合格合格合格

以上6名

☆数学検定合格者一覧☆
修明学園 準会場認定
(平成27年度・第2回・10月17日実施)

次回の検定は、平成28年

漢字検定... 1/30(土曜)実施 12/15(火)申込締切
数学検定... 2/13(土曜)実施 1/7(木)申込締切

☆各教室にて申し込みを受付しております☆